

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成24年9月6日

施設名	高知県立春野総合運動公園	所管課名	土木部公園下水道課
-----	--------------	------	-----------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人 高知県スポーツ振興財団	指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	高知市春野町芳原		
事業内容	1. 施設の運営に関する業務 ・施設及び設備の利用に関する業務 ・施設等の利用料金の徴収等 2. 施設等の維持管理に関する業務 ・運動施設管理業務 ・植栽管理業務 ・施設等保守管理業務 ・清掃業務 ・警備業務 3. 公園全般に係るその他の業務 ・利用案内、関係機関等との連携・協力、要望・苦情処理、緊急事態の対応		
施設内容	○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 公園面積59.7ha、供用日：1月4日から12月28日、供用時間：8:30～17:00 運動施設(野球場：20,900㎡・収容人員16,000人、陸上競技場：400mトラック・収容人員25,000人等) 遊戯施設(ちびっこ広場、散策道、展望台) 便益施設(管理事務所、駐車場、トイレ、シャワー) その他の施設(宿泊施設、飲食店、売店)		
職員体制	職員：2人 定期職員：26人 短期職員：9人 合計：37人		

2 収支の状況

単位：円

		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)
収入	県支出金	198,403,000	198,003,000	198,403,000
	使用料・手数料	63,611,690	71,426,545	65,900,000
	その他	3,920,660	2,092,050	3,000,000
	収入計 (a)	265,935,350	271,521,595	267,303,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	189,949,645	191,953,967	189,120,000
	人件費	75,449,714	78,563,129	78,183,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	265,399,359	270,517,096	267,303,000
収支差額 (a)－(b)		535,991	1,004,499	0

3 利用状況

	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	427,741	444,709	430,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・水泳場、体育館、陸上競技場において、アンケート調査を実施(通年・意見箱設置)調査結果等・要望を受け、体育館横に自転車置き場を設置 要望の多いテニスコート、トレーニングルームの正月営業を引き続き、実施。</p> <p>○ その他 ・要望を受け、パークゴルフの利用料を、1施設250円のところ、多目的広場と林間コースセットで250円に改定した。また、多目的広場に新たなカップを作った。 ・犬のノーリードや糞の後始末等マナー違反に対し、マナー向上のための看板を設置し、職員が口頭で注意をするなど、マナー向上に努めた。</p>		
③その他特記事項	※利用者の24年度目標が、23年度実績を下回っているのは、補助競技場公認3種検定及びテニスコート改修工事(約3月間)等により、施設利用できない期間が多くなることが明らかなため。		

4 平成23年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施された。 例年、スポーツキャンプやイベントの誘致協力を努めており、観光コンベンション協会との連携も図られた。 利用調整会議等の機会をとらえ、要望聞き取りなどニーズの把握に努め、そういったニーズをとらえて自主事業を実施した。 維持・修繕は、金額で計画を若干上回り、適正に対処した。 利用者の声、施設、機器類の使用状況、観客動向、及び全施設の管理状況の情報が一元管理されているとともに必要な情報は県に随時提供された。
②利用者サービスの維持向上	プロキャンプの状況や各チームの要望等を積極的に把握し、各チームの希望する硬さでグラウンドコンディションを迅速に調整するなどした。 また、陸上競技場男子トイレをウォシュレット化(アルビレックス新潟の要望によりキャンプまでに施行)するなど、サービスの向上を図った。 施設の改善、正月営業等により、利用者サービスの向上を図った。 好評だった自主事業は、継続し、さらに新たな自主事業を展開した。
③利用実績	利用人数は増加した(前年比約17,000人)。これは、ポリショイサーカスの開催(8月)、プロ野球・プロサッカーのプレシーズンマッチの開催等が主な要因である。
④収支の状況	利用人数の増加に伴い、利用料収入も増加(前年比約780万円)した。人員の1人増による人件費や、管理運営費中の修繕費の支出増はあったが、節水対策などの経費節減に努めたことや、利用料収入の増により、黒字となった。
総合評価	A 協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が実施されるとともに、利用促進のためのサービス向上にも取り組んでおり、適正な管理運営がされたと認められる。 例年どおりキャンプの評価は高く、来年度以降も春野で実施したいという声が多い。 利用人数、利用料収入とも大きく増加したのは、イベントの実施だけでなく、利用促進に取り組んできた成果が表れたものと評価できる。 様々な課題や苦情への対応及び積極的な職員の研修参加等により、指定管理3年間で積み上げたノウハウにより、次年度以降の利用者増等に反映させていくことが期待できる。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの